

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和7年度第5回加東市部活動あり方検討委員会
開催日時	令和8年2月26日(木) 19時00分から20時30分まで
開催場所	加東市社公民館 2階 視聴覚教室
<p>議長の氏名 (委員長 森田啓之)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>〔出席〕 11名</p> <p>森田啓之委員 中原公寿委員 竹内守男委員 東嶋正一委員 藤本進委員 藤原由英委員 藤原路寛委員 平川真也委員 大本健次朗委員 桂弘文委員 家本典子委員</p> <p>〔欠席〕 1名</p> <p>三村勇委員</p>	
<p>説明のため出席した者の職氏名</p> <p>なし</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>こども未来部 部長 近澤 孝則 参事兼学校教育課長 井上 裕子 部活動改革推進 室長 郡 龍仁 主査 岸本 善仁 学校教育課 主任 石井 真史</p>	
<p>議題、会議結果、会議の経過及び資料名</p> <p>〔報告・協議〕</p> <p>(1) 加東市地域クラブ活動団体認定状況について</p> <p>(2) 部活動地域展開に向けた整備等について</p> <p>(3) その他</p> <p>〔会議結果〕</p> <p>(1) 加東市地域クラブ活動団体認定状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次募集までを終え、20団体を認定 <p>(2) 部活動地域展開に向けた整備等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒が参加しやすい環境づくり ・部活動改革の全体スケジュール(案)、地域クラブの紹介方法、連絡用アプリの試行、部活動・地域クラブ活動の活動場所の確保 ○今後のスケジュール等 <p>(3) その他</p>	

〔会議の経過〕

(事務局)

ただいまから令和7年度第5回加東市部活動あり方検討委員会を開会します。

(委員長)〔開会挨拶〕

まず一つ目、加東市地域クラブ活動団体認定状況についてです。

(事務局)

第2次募集までを終えた結果、20団体の申請があり、全ての団体を加東市地域クラブとして認定しました。認定については市教委で認定審査委員会を設置し、認定審査を行いました。

「部活動から移行：休日地域クラブ」と書いている団体は、平日は部活動、休日は地域クラブとして活動する団体です。地域クラブ活動として新しく団体を作り上げていただいた団体については「新設」としています。

(委員長)

休日の方は参加しない子がいる可能性もあるということですね。認定活動Cはどのようなイメージですか。

(事務局)

長期休業中などに、短期的に活動する体験の場と考えています。例えば、小学生から中学生までを対象とした卓球教室を設定して実際に触れ、物事に取り組むための取っ掛かりになればと思います。

今回はたくさんの団体に申請いただきました。これまで部活動にあった種目もあれば、なかった種目もあり、子どもたちの選択の幅が広がりました。今後、子どもたちへの紹介は、活動日数や会費等の情報も含め整理をしたものをホームページ等でお知らせします。現時点で申請がない種目についても、令和10年度総体後に向けて調整を図っているところです。

(委員)

部活動から移行する地域クラブに関しては、その4月から中学校の教師は顧問として所属はしなくていいのですか。

(事務局)

平日は部活動を指導しますので所属します。令和10年度の総体までは部活動が続きますので、これまで通り先生方は顧問として指導していただくことになります。土日に地域クラブで指導される場合は、地域指導者として活動していただきます。

(委員)

平日に部活動、休日に地域クラブに参加した場合、その時間は加算されますか、されませんか。

(事務局)

部活動から移行する団体については、基本的には部活動のガイドラインと同じ扱いになりますので、平日に部活動をした時間と休日に活動した時間は一緒になります。平日2時間・休日3時間の計週11時間の活動時間を守っていただくのが基本です。

(委員)

時間の管理は誰がするのですか。

(事務局)

基本的には地域の指導者です。

(委員長)

活動時間については、全てのクラブで意識してもらわないといけないと思います。また、ここに挙がっていない種目については、この1、2年で調整を進めるということでご理解ください。

協議事項の説明をお願いします。

(事務局)

部活動の地域展開に向けた整備等として、生徒が参加しやすい環境づくりを進めたいと考えます。令和10年度総体までは部活動を残しながら、同時に新しい活動の場である地域クラブ活動にも参加しやすい環境を作っていくためにはどうしたらいいか、日々頭を悩ませています。

その中の一つ目、地域クラブ活動は中学校区と関係なく参加が可能になりますので、まず各学校の定期テストの実施期間について可能な限り合わせていただく依頼を学校へしています。

二つ目、令和10年度の総体後に向けて、少しずつ部活動の活動頻度を減らしていくスキーム案を考えています。まず令和8年度9月からは活動日数、活動頻度については変えず、朝練については廃止を検討しています。そして、令和9年度の4月からは、月曜日・水曜日はノー部活デー、また休日についても原則第1・第3休日は部活動、第2・第4休日はノー部活と考えています。令和9年度9月からは、休日の活動は原則第1土曜日としています。

三つ目、地域クラブの紹介方法についてです。まず、紙ベースで地域クラブごとに紹介ページを作成し、活動内容、活動頻度をわかりやすく紹介をしていこうと考えています。本加入の際は、そのページのQRコードと連絡用アプリとが連動し、希望する地域クラブ活動に参加することができるようにしていこうと考えています。また、加東市のホームページでの紹介に加え、子どもたちが持っている1人1台タブレットでも詳細が確認できるように調整中です。

四つ目、連絡用アプリの試行についてです。アプリでできる内容は、加入申請、スケジュールの共有、出欠連絡、出欠確認、連絡・やり取り、指導者の勤怠管理、活動記録ができます。一対一での連絡・やり取りはできないことになっており、やり取りの中でも密室を作れないようになっています。本来は、年間で生徒1人につき990円かかりますが、来年度は無償で試行し、導入について検討したいと思います。

五つ目、部活動・地域クラブ活動の活動場所の確保についてです。学校施設の利用については、部活動もしくは部活動から移行する地域クラブを優先したいと考えます。地域クラブ団体で学校施設の利用を希望する場合は、部活動が使用しない時間帯で使用日時を確保し固定化することで、生徒が参加しやすい環境を作りたいと考えます。そのため、グラウンドもしくは体育館を使用する部活動については毎月15日までに次の月の予定表を提出いただき、活動場所を確保したいと考えます。その後、20日前後に調整会を開催し、活動場所を確保したいと思います。

また、来年度4月19日あたりで地域クラブ活動体験会を開催予定ですので、一部地域クラブの学校施設の利用についても調整します。

(委員長)

では、二つ目について、意見をお願いします。

(委員)

案のように進めていくと令和9年の4月や9月から土日の活動が縮小されていくと、コンクールや新人戦・総体の前に、土日練習試合等ができないのはどうかという意見がありました。運用は弾力的にできるのかという意見もありました。例えば、平日のノー部活

デーを増やす代わりに、土日に活動することが可能なのか。

(委員)

令和9年度の4月以降の土日のこの扱いに関しては、どこまで学校に裁量があるのかというところです。そもそも令和8年9月からというところを、令和8年の総体終わりにしてもらえると、今の中2にとっても急に朝練がなくなることはない。次の令和9年4月からも同じように、9年総体終わりにしてもらおうと、今まで通り最後まで活動して引退までいけると思います。9年総体終わりからこうなるという説明は、対象学年の子たちには事前にできるので、伝えた上で入部するかどうか決めてもらえるという意見が出ました。

基本的に今後は地域クラブにお世話になるので、このように段階を踏んでスケジュールをということに関しては概ね賛成です。けれども、在校生のことを考えると、総体終わりというスケジュールにしてもらえたら助かるという意見が出ました。

(委員)

朝練の件については、異論なしでした。ただ、なぜ朝練をなくすのかという根拠と、市で統一をしてほしいという意見が出ました。

あとは、このスケジュールなら掛け持ちをする生徒が出てくるので、それはしない方がいいのではないかという意見、このままでいいのではないかという意見がありました。令和9年4月からこれまで通りの部活動ができなくなると、顧問としては悩むという意見もありました。

(事務局)

朝練についてですが、廃止を市で統一してほしいという意見をたくさんいただいています。また、部活動から地域クラブに移行する一つ的手段として、段階的に部活動から離れていく、まずは朝練を廃止することが大事だと考えます。先進地の事例でも、まずは朝練をなくす、そして減らしていくというスキームで地域クラブを展開しています。

(委員長)

もう少し説明の根拠を明確に提示してほしいということがあると思います。教員の勤務時間の問題や朝練の影響・現状、その辺を総括した何らかのメッセージが必要ではないかというところではないでしょうか。

(事務局)

朝練は子どもたちの自主的な活動であり、各学校や部活動で、実施について判断し指導いただいているというのが、これまでのそもそもの考え方です。また、強制力を持ったものではありません。開始時刻が7時30分頃からの活動に向けて子どもたちが家を出てくるので、朝の時間、子どもたちも保護者も負担に感じている現状もあります。

これまでから、朝練の考え方については、市教委として統一した考え方を示してほしいというお声もいただいていたので、今回部活動地域展開をするにあたり考え方を整理する中で、今回このような提案をしました。

(委員長)

おそらくいろんな見方があると思いますが、ここについてはまず市として、関係者に丁寧に説明をする必要があると思います。これまで、自主的・自発的と言いながらそうならなかったりします。ある市も2年前から朝練をやめましたけど、それでパフォーマンスが落ちているわけでもありません。だから、考え方を変える必要があるし、ぜひ先生方も理解できる話としてうまく伝えてくれたらと思います。

それから、スケジュールの件で、もう少し柔軟な運用をという意見がありましたが、いかがでしょうか。

(事務局)

確定ではないので、いろいろな意見を取り入れたいと考えていますが、やはり学校ごとで活動日数や活動日がわかれてしまうと、参加人数が不安定で、地域クラブの方々が困ります。まずは3校の休日を合わせていただくのが第1優先と考えます。

活動する曜日を決めた方が、地域クラブは活動しやすいです。学校のテスト期間や、大会日程は変動することもあると思うので、そこは柔軟に検討できたらと思いますが、学校ごとに自由な裁量で実施するのは、地域クラブの活動を考えると難しいです。

また、活動場所として学校施設を希望される方もおられますが、まずは部活動を優先したいので、活動日数は決めたいと考えます。

(事務局)

地域クラブを進めることはもちろん大切ですが、部活動に参加する子どもたちが、不完全燃焼で終わって欲しくないという思いも当然あります。ただ、その中で地域クラブ活動を令和10年度に向けて進めていかないといけない狭間にありますので、いろんなご意見いただきながら参考にさせていただきたいと思います。

(委員)

全部スケジュール通りには難しいと思いますが、3校が合わすのは基本だと思います。ただ、種目ごとに大会やコンクールの時期が違うので、3校が一緒になってその日程をずらすというのがあるかと思います。

(委員)

保護者の立場からすると、子どもたちが楽しく続けていくような仕組みを作ってほしいと思います。エンジョイ型の楽しみ方や勝利を目指す楽しみ方など、楽しいには二つあると思います。もう一つは、親の負担、親が続けさせていけるような仕組みを作ってほしいということです。経済的負担をなくすことと、移動のハードルは結構大きいです。それと、習い事や塾を両立させることで、参加する人が増えるのではないかと思います。

あと、指導者のあり方。理論に基づいて指導する人になってほしい、安心感があるということが大事だと思います。

(委員長)

子どもたちは、今でも活動を掛け持ちしてますよね。塾、スイミング、部活、習い事とか。今後そういう意味では、この地域クラブ活動も掛け持ちの一つの対象になるという捉え方をするのが重要だと思います。先ほど、委員が言われたような多様性をどれだけ包含した雰囲気とシステムを作れるかがポイントです。

平日と休日が混ざる過渡期は一番ややこしくて、だから学校の先生方、保護者、子ども含めて今まで通りの部活動ができなくなることも受け入れざるを得ない。その枠の中でできる最大限のパフォーマンスをどう作るかを、大人、指導者が頑張らないといけない。

では、今後のスケジュール等について事務局からお願いします。

(事務局)

来年度からは、準備ができた地域クラブから活動を始めます。

主な支援としては、国の補助金を活用し、地域クラブ団体への活動支援、また困窮世帯の参加者については、毎月上限3000円までの月会費の補助を実施します。また、アプリの活用や紹介冊子を作成して、少しでも地域クラブに参加しやすい環境を整備していこうと考えています。活動団体の募集も引き続き行い、子どもたちの興味に応じた活動の場を整備していきたいと考えます。加えて、安全安心な活動のため、指導者資格の取得にかかる費用を補助し、資格取得を促進していきたいと考えます。さらに、指導者には必ず研修を受けていただいてから従事していただくよう考えています。

今後は、3月に第1回従事者説明会を開催し、4月から5月の活動開始に向け取り組ん

でいきます。

(委員)

地域クラブの詳細をお知らせされるのはいつぐらいでしょうか。

(事務局)

まずは、お示しした資料の情報を早急にホームページに掲載したいと思います。月会費や活動日数など、もう少し細かい情報になりますと、しばらく整理の時間をいただき、3月下旬頃には情報提供できるようにしたいと考えます。

(委員)

今回の認定団体に、希望する団体がない子どもたちの動きについても記載したらどうでしょうか。

(事務局)

令和10年度総体までに、まずは部活動にある種目を何とか整備をしたいと考えています。この1、2年で少しずつお話を進めていきます。

(委員長)

どの市町でも、そこまで努力しても出てこなければ、もうそれはその地域にはそういう土壌が育たなかったということです。大人として子どもに謝るしかない。そこまで大人が腹をくくらなければいけません。おそらく、事務局は可能性のあるところにアプローチするでしょうが、けんもほろろに断られるところもあります。その時に加東市は、例えば認定活動Cのような活動も設定しているので、うまく進めてもらえたらと思います。

(委員)

質問と提案があります。1点目は質問ですが、令和8年に入る中学生1年生は帰宅部という選択はあるのですか。

(事務局)

あります。

(委員)

2点目は提案ですが、資料3のスケジュール案を見た瞬間、今の小学校5年生の子が令和9年に入る時に、活動がスカスカみたいにか何か違和感が出るかもしれませんよね。それなら例えば、土日は部活、地域クラブ、ノー部活で三つの選択肢を与えてあげた方がいいのではないのでしょうか。資料の案でノー部活となっているところも、実は生徒たちは、何かしらの形でどこかで活動しているのに、それすらもないのかなと思ってしまいました。同じように思う方がいると思うので、その不安を少しでも解消するためどうですか。

(事務局)

部活動の日数が減ることで、地域クラブという選択肢を選びやすくなってほしいという思いがあります。

(委員)

その気持ちを文章化してわかりやすくしたらどうでしょう。

(委員長)

学校の先生向けの資料としては非常にわかりやすいです。でも、参加する子どもたちや保護者の目線から見ると、わかりにくいかもしれません。ノー部活ってというのは、基本的には部活を中心に生まれた言葉なので、例えば、Aさんの場合、Bさんの場合と、新たな展開を示しても良いかもしれません。いろんな解釈があるならばということで、ちょっと検討してみてください。

(委員)

3点目です。体験会をするときに、1年間の動きがわかるよう年間スケジュールを用意

してあげたら入りやすいのではないのでしょうか。生徒が参加しやすい環境作りにつながると思います。

(委員)

ノ一部活デーだから部活はしたら駄目だと考えたら、おそらく地域スポーツも駄目だと誤解されてしまうかもしれません。地域クラブを推進するなら、文章的なもので補足が必要だと思います。保護者への理解もまだ進んでいない。学校や先生方へのさらなる理解も必要。活動場所の調整は推進室がするのですか。

(事務局)

18 時以降については、今まで通り教育総務課で管理されます。部活動が使っていた時間帯の調整は連携して行っています。

(委員長)

「5 その他」、事務局からお願いします。

(事務局)

あり方検討委員会設置要綱にありますように任期の3年が終わりますが、継続的な協議が必要ですので、ぜひとも継続して委員をお引き受けください。

(委員長)

事務局から依頼がありましたら、ぜひお願いします。事務局へ進行をお返しします。

(事務局)

閉会にあたりまして、副委員長からご挨拶をいただきます。

(副委員長) [閉会挨拶]

(事務局)

以上をもちまして、令和7年度第5回部活動あり方検討委員会を終了します。

令和8年3月6日